

## [研究ノート]

# 鎮守の森、史跡等の植生（2）

— 白山神社(野田市木間ヶ瀬)、八幡神社（野田市新田戸） —

岩 槻 秀 明

## はじめに

各地に存在する鎮守の森（社寺林）や史跡は、歴史的・民俗学的な価値の高い空間として大切な場所である。さらに、古くから保全されてきた場所であるが故、良好な自然環境が維持された「多様な生物が生息できる空間」としても重要な役割を担っている。そこで、博物館周辺に見られる鎮守の森や史跡の植生を調べ、その実態を探ってみたいと思っている。

## 今回の調査場所

今回の調査地点は次の2ヶ所である。

### 【調査地1】白山神社(野田市木間ヶ瀬)

県道7号と県道162号(下総利根大橋)が交わる「野田市木間ヶ瀬北」交差点の近くである。利根川にも近いが、やや高台となっていて、周辺は住宅地や畑地である。

神社の北側に針葉樹を主体とした社寺林が広がり、南側には自治会館及び小さな公園がある。(図1-1)

### 【調査地2】八幡神社(野田市新田戸)

周辺は田畑の中に住宅が点在する平坦な環境となっている。神社の鳥居は、畑地の中にあり、舗装道路から鳥居に向かって接続する砂利道が整備されている。

社寺林は神社の北側が主体だが、東側や西側にも細長い樹林帯があり、境内を取り

囲むようになっている。防風林としての役割を持たせているのかもしれない。(図2-1)

## 調査期間及び調査方法

現地調査は、以下の日に行った。

### 1. 白山神社

2014年 6/10 11/27

2015年 3/16 9/20 12/14

### 2. 八幡神社

2015年 2/25 4/19 10/3 12/15

今回は、主に植物種の記録を行った。記録方法は、写真及び目視によるリストアップを原則とした。少数だが、学術的な観点から標本作成を行ったものもある。

1回の調査で同じ場所を最低3回まわるようにし、可能なかぎり記録漏れを防ぐようにした。

また、上記調査日以外でも、個人的な観察等で写真による記録が残されているものもあったため、それらも可能なかぎり含めた。

## 調査結果

### 1. 植生の傾向

#### A. 社寺林の植生(高木～亜高木層)

白山神社、八幡神社ともに、社寺林の主な構成種はヒノキやサワラであった。

白山神社は、北側社寺林はヒノキやサワラ、スギなどの針葉樹を主体とした樹林であったが、神社周辺および、南側の自治会館や小公園の周辺には多様な樹種が植栽されている。クスノキやスダジイ、カヤ、ソメイヨシノなどは、一部がかなりの大木となっていた。今回は確認できなかったが、社寺林でよく見られるカヤの大木は、カヤランなどの着生ランが生育できる環境として重要である。自治会館の裏側には、植栽由来と考えられるニッケイがあった。周辺の社寺林ではあまり見られない樹種であるため、特筆しておく。

八幡神社の北側社寺林も、ヒノキやサワラを主体とした針葉樹の樹林となっている。また、境内の東側・西側にも細長い樹林帯が広がっている。こちらにもヒノキやスギなどの針葉樹が主体であるが、東側にはゲッケイジュの大木があった。神社裏手には、アイグロマツ、ツツジの一種、サカキが植栽されていた。

## B. 社寺林の植生(低木～草本層)

白山神社、八幡神社ともに、社寺林内は日当たりが悪くジメジメとしているが、林床は下草が多い。どちらも、ジャノヒゲ、ナガバジャノヒゲ、ヤブランなどの日陰を好む多年草が地面の広範囲を覆っており、アズマネザサ等のササ類が多少見られる。また、ヤブコウジ等の小低木や、さまざまな樹木の実生苗も多い。

白山神社の北側社寺林は、ジャノヒゲ等の他に、ジュズスゲ、エナシヒゴクサ、ナキリスゲなどスゲ類の個体数も多い。特にジュズスゲの数が多いのは特筆事項である。また、フタリシズカやウラシマソウ、ノダケ、ノササゲ、ササガヤ等、里山環境に自生する植物も見られる。その一方で、舗装道路に面した側を中心に、コセンダングサ、イモカタバミ、ホソバオオアマナ、シンジュ等の外来種の侵入も目立った。

八幡神社の林床には、ウラシマソウ、センニンソウ、クサノオウ、キツネノカミソ

リ、カラスノゴマ、イヌアワ等在来の草本が見られた。特にカラスノゴマとイヌアワの個体数が多く、この場所の植生を特徴づけていた。外来種はコセンダングサの個体数が多かった。

## C. 林縁の植生

白山神社の北側社寺林は、東側で舗装道路に接していて、やや斜面となっている。日当たりのよい林縁の草地で、本来は多様な植物がみられる環境だが、外来種が多く、荒れ地に近い植生であった。

八幡神社の北側社寺林は日当たりが悪くジメジメとした環境で、夏でも少しひんやりと感じる。ミゾイチゴツナギ、クサノオウ、スズメウリ、ヌカキビ、イヌホオズキなどの在来種が確認できた。また、後述するが、エゴマとシソの交雑種と推定される個体群も見られた。同じ北側社寺林でも、舗装道路に面した側は、イヌムギ、ムラサキカタバミ、フラサバソウなどの外来種が多く見られた。

## D. 神社周辺の植生

白山神社、八幡神社ともに、神社や自治会館などの周辺は裸地(踏み固められた土が露出する環境)となっていて、比較的背の低い草を主体とする植生となっている。土壌の水分量は比較的保たれていて、ヒメスミレ、ハハコグサ、ツメクサ、トキワハゼ、スズメノカタビラ、ウリクサ、ザクロソウ、ハナイバナ、コナスビなどが見られた。ただ、セイタカハハコグサ、ミチタネツケバナ、イヌコハコベなどの比較的新しい外来種の侵入も目立つ。

白山神社の南側の公園となっている場所は、初夏はヌカボ、秋はアキメヒシバが群生していた。

## 2. 植物種の確認状況

2015年12月15日までの集計で、維管束植物(種子植物及びシダ植物)は白山神社で210種、八幡神社で153種確認できた。

うち、外来種や植栽等の人為的導入種数

は、白山神社で 77 種、八幡神社で 51 種だった。帰化率（全体の種数における外来種数の割合）は、白山神社で 36.7%、八幡神社で 33.3%となった。

特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（以下、外来生物法）によって指定されている特定外来生物は、植物に限れば、白山神社、八幡神社ともに確認されなかった。また、2014 年 3 月に公表された、我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト（以下、生態系被害防止外来種リスト）のリストアップ種数としては、定着予防外来種は、白山神社、八幡神社とも 0 種だった。総合対策外来種は白山神社 9 種（重点対策外来種 3 種、その他の総合対策外来種 6 種）、八幡神社 3 種（重点対策外来種 1 種、その他の総合対策外来種 2 種）であった。産業管理外来種は白山神社 4 種、八幡神社 1 種だった。

レッドリスト（以下 RL）関連としては、環境省の第 4 次 RL 掲載種は 0 種、千葉県 RL レッドリスト 2009 年改訂版掲載種は、八幡神社で 1 種（一般保護 1 種：イヌアワ）だった。

参考資料として、今回の調査で確認した植物種の全種目録及び、外来生物法、RL 関係の集計を別表（44 ページ参照）として添付する。

### 3. 植物の注目種

#### A. オニツルボ（写真 1-5）

キジカクシ科の多年草で、海岸の崖地に生える。ツルボに似るが、花茎が太く、丈は 50cm を超える。葉も幅が広く 10mm~20mm。

この特徴に一致する個体群が、白山神社の社寺林内に多数見られたため、これらをオニツルボとして記録した。ただ、オニツルボの本来の自生環境は海岸なので、今後、分類学的な検討の余地がある。

#### B. ナガエフタバムグラ（写真 1-6）

アカネ科の 1 年草。フタバムグラの一変種で、果実の柄が長いものを言う。フタバムグラの果実は柄がないか、あってもごく

短い。白山神社の社寺林の日陰地には、ナガエフタバムグラのみが見られた。フタバムグラは市内の畑地・水田周辺にごく普通に見られるが、ナガエフタバムグラはかなり少ない。

#### C. ホソミナズナ（写真 1-7）

アブラナ科の 1~越年草で、ヨーロッパ原産。在来のナズナにそっくりだが、果実が細長い二等辺三角形になる。白山神社で、在来のナズナと混生していた。

#### D. シソ属の一種（写真 2-7）

八幡神社の北側社寺林の縁に見られた。エゴマとアカジソの中間的な姿をしていて、葉は紫がかった緑色、花は淡赤紫色。エゴマとアカジソの交雑種だろう。

### まとめと今後の課題

白山神社と八幡神社も、小さな鎮守の森であるが、面積のわりに植物種数が多く、多様な生物が生息する空間として機能していると言える。今回は、シダ植物、コケ植物、昆虫や小動物などの記録までは手が回っておらず、今後の課題として継続調査を行っていきたい。

### 主な参考・引用文献

千葉県史料研究財団編 2003 年『千葉県植物誌（県史シリーズ 51. 千葉県の自然誌別編 4）』千葉県

千葉県環境生活部自然保護課 2009 年『千葉県の保護上重要な野生生物 -千葉県レッドデータブック- 植物・菌類編 2009 年改訂版』

環境省ホームページ内

外来生物法-特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律-

<http://www.env.go.jp/nature/intro/>

（いわつき・ひであき 当館展示協力員）

# 白山神社の図・写真



図 1-1 神社周辺の概略図  
およその位置関係を示したもので、  
精密なものではありません。



写真 1-1 白山神社 鳥居



写真 1-2 神社北側の社寺林



写真 1-3 境内の大木  
カヤ(左)、クスノキ(右)



写真 1-4  
ジュズゲ



写真 1-5  
オニツルボ  
花茎約 80cm、  
葉の幅 1cm 以上



写真 1-6 ナガエフタバムグラ



写真 1-7  
ホソミナズナ  
果実は在来種よ  
りも細長い形



## 八幡神社の図・写真

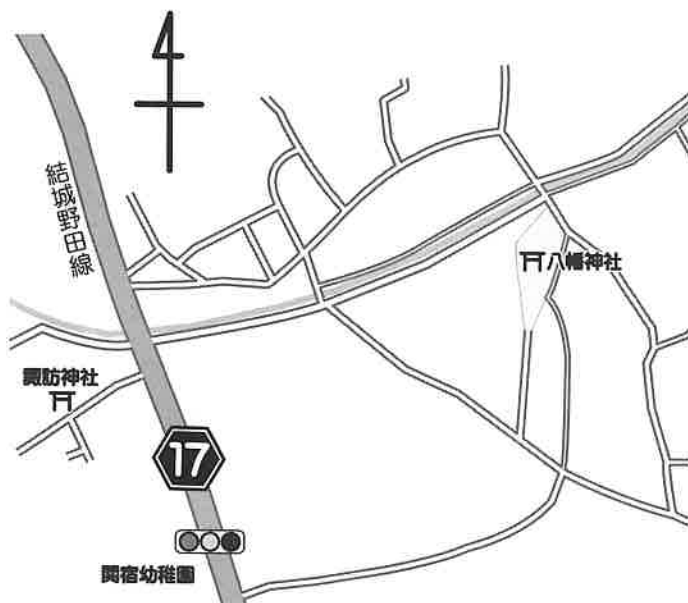


図 2-1 神社周辺の概略図

およその位置関係を示したもので、  
精密なものではありません。



写真 2-1 八幡神社 鳥居



写真 2-2 神社北側の社寺林



写真 2-3 イヌアワ



写真 2-4 カラスノゴマ



写真 2-5 クサノオウ



写真 2-6 フラサバソウ



写真 2-7 シソ属の一種  
エゴマとアカジソの交雑種?

【別表】白山神社(野田市木間ヶ瀬)、八幡神社(野田市新田戸)で確認した植物目録

科名	No	和名	確認状況		外来	外来生物法		RL		メモ
			白山	八幡		特外	被害防止L	国	県	
トクサ	1	スギナ		●						
コバノイシカグマ	2	ワラビ	●							
コウヤワラビ	3	クサソテツ		●						
マツ	4	アカマツ	●		○					植栽
	5	アイグロマツ	●	●	○					植栽 クロマツ×アカマツ
イチイ	6	カヤ	●		○					植栽
ヒノキ	7	サワラ	●	●	○					植栽
	8	ヒノキ	●	●	○					植栽
	9	スギ	●	●	○					植栽
ドクダミ	10	ドクダミ	●	●						
モクレン	11	コブシ	●							
クスノキ	12	クスノキ	●		○					植栽
	13	ニッケイ	●		○					植栽
	14	ゲッケイジュ		●	○					植栽
	15	シロダモ	●	●						
センリョウ	16	フタリシズカ	●							
サトイモ	17	ウラシマソウ	●	●						
	18	カラスビシャク	●							
ヤマノイモ	19	ヤマノイモ	●	●						
	20	オニドコロ	●							
シオデ	21	サルトリイバラ	●							
	22	シオデ	●							
イヌサフラン	23	ホウチャクソウ	●							
ワスレグサ	24	ヤブカンゾウ	●	●						
ヒガンバナ	25	ヒガンバナ	●	●	○					
	26	キツネノカミソリ		●						
ネギ	27	ノビル	●	●						
	28	ハナニラ	●	●	○		B-3			
キジカクシ	29	ヤブラン	●	●						
	30	ジャノヒゲ	●	●						
	31	ナガバジャノヒゲ	●	●						
	32	ホソバオオアマナ	●		○					
	33	アマドコロ	●	●						
	34	オモト		●						
	35	ツルボ		●						
	36	オニツルボ	●							
ヤシ	37	シュロ	●	●	○		B-3			
カヤツリグサ	38	ナキリスゲ	●							
	39	ヒゴクサ	●							
	40	エナシヒゴクサ	●							
	41	ジュズスゲ	●							
	42	カヤツリグサ		●						
	43	コゴメガヤツリ		●						
	44	チャガヤツリ		●						
	45	アオガヤツリ	●							
	46	クグガヤツリ	●							
イネ	47	カモジグサ	●	●						
	48	ヌカボ	●							
	49	イヌムギ	●	●	○					
	50	ノガリヤス		●						
	51	メヒシバ	●	●						
	52	コメヒシバ		●						
	53	アキメヒシバ	●							

	54	イヌビエ	●						
	55	オヒシバ	●						
	56	カゼクサ	●						
	57	ニワホコリ	●						
	58	コスズメガヤ	●		○				
	59	ネズミホソムギ	●		○	C			ネズミムギ×ホソムギ
	60	アシボソ	●						
	61	ヒメアシボソ		●					アシボソの芒を欠く型
	62	ササガヤ	●						
	63	ススキ		●					
	64	ケチデミザサ	●	●					
	65	ヌカキビ	●	●					
	66	オオクサキビ	●		○	B-3			
	67	チカラシバ	●						
	68	メダケ	●	●					
	69	アズマネザサ	●	●					
	70	アオズメノカタビラ	●	●	○				
	71	スズメノカタビラ		●					
	72	ミゾイチゴツナギ		●					
	73	クマザサ	●						
	74	エノコログサ	●	●					
	75	アキノエノコログサ	●	●					
	76	ムラサキアキノエノコロ	●						アキノエノコログサの剛毛に紫がかかる型
	77	イヌアワ		●				D	
ツユクサ	78	ツユクサ	●	●					
アケビ	79	アケビ	●	●					八幡神社の株は花色が白っぽい
	80	ゴヨウアケビ	●	●					アケビ×ゴヨウアケビ
メギ	81	ナンテン	●	●	○				植栽のほか、逸出と推定される実生苗も多い
キンポウゲ	82	センニンソウ		●					
ケシ	83	クサノオウ		●					
	84	ムラサキケマン	●						
	85	ナガミヒナゲシ	●		○				
タデ	86	ミズヒキ	●	●					
	87	シンミズヒキ	●						
	88	イシミカワ	●						
	89	イヌタデ	●	●					
	90	ハナタデ	●						
ナデシコ	91	ノミノツヅリ		●					
	92	オランダミミナグサ	●	●	○				
	93	ツメクサ	●	●					
	94	ミドリハコベ	●						
	95	コハコベ	●	●	○				
	96	イヌコハコベ	●	●	○				
	97	ウシハコベ	●	●					
ヒユ	98	ヒナタイノコヅチ	●						
	99	イノコヅチ	●						
	100	ホソアオゲイトウ	●		○				
	101	シロザ	●		○				
	102	ゴウシュウアリタソウ	●		○				
ザクロソウ	103	ザクロソウ	●						
スベリヒユ	104	スベリヒユ	●						
ヤマゴボウ	105	ヨウシュヤマゴボウ	●		○				
ベンケイソウ	106	コモチマンネングサ	●						
ブドウ	107	ノブドウ	●						
	108	ヤブカラシ	●	●					
フウロソウ	109	アメリカフウロ	●	●	○				

アカバナ	110	コマツヨイグサ		●	○	B-2			
ニシキギ	111	ツルウメモドキ	●						
	112	マユミ	●	●					
スマレ	113	タチツボスマレ	●						
	114	ヒメスマレ	●	●					
	115	マルバスマレ	●	●					
トウダイグサ	116	エノキグサ	●	●					
	117	コニシキソウ	●		○				
	118	アカメガシワ	●	●					
カタバミ	119	カタバミ	●	●					
	120	アカカタバミ	●	●					
	121	ウスアカカタバミ	●	●					
	122	ムラサキカタバミ		●	○				
	123	イモカタバミ	●		○				
	124	インカタバミ	●		○				
マメ	125	ヤブマメ		●					
	126	ノササゲ	●						
	127	ヌスビトハギ	●						
	128	クズ	●	●					
	129	ハリエンジュ	●		○	C			
	130	シロツメクサ		●	○				
	131	カラスノエンドウ	●	●					
	132	スズメノエンドウ	●						
	133	フジ	●						
	バラ	134	ソメイヨシノ	●		○			
135		ビワ	●	●	○	C			小さな実生苗
136		ヘビイチゴ		●					
137		ノイバラ	●	●					
138		ナワシロイチゴ	●						
ニレ	139	ケヤキ		●					実生苗。逸出か？
アサ	140	ムクノキ	●	●					
	141	エノキ	●	●					
	142	カナムグラ	●	●					
クワ	143	カジノキ		●	○				
	144	ヒメコウゾ	●		○				
	145	クワクサ	●						
	146	ヤマグワ		●					
イラクサ	147	ヤブマオ		●					
	148	アオミズ	●	●					
ウリ	149	アマチャヅル	●						
	150	スズメウリ	●	●					
	151	カラスウリ	●	●					
ブナ	152	スダジイ	●		○				植栽
	153	シラカシ	●	●					
カバノキ	154	イヌシデ	●						
アブラナ	155	ナズナ	●	●					
	156	ホソミナズナ	●		○				ナズナの果実が細長い型
	157	ミチタネツケバナ	●	●	○				
	158	ショカツサイ		●	○				
アオイ	159	カラスノゴマ		●					
ムクロジ	160	イロハモミジ	●		○				植栽
ウルシ	161	ハゼノキの一種		●					ヤマハゼと思われるが要検討。同定は保留
ニガキ	162	シンジュ	●		○	B-2			
センダン	163	センダン	●	●	○				小さな実生苗
ミズキ	164	ミズキ		●					
アジサイ	165	アジサイ園芸品種群	●		○				植栽。品種名不詳
ツバキ	166	サザンカ園芸品種群	●		○				植栽。品種名不詳
	167	チャ	●	●	○				



サカキ	168	サカキ		●	○				植栽
	169	ヒサカキ	●	●	○				植栽と野生株が混在していると推定される
ハイノキ	170	サワフタギ	●						
サクラソウ	171	ヤブコウジ	●	●					
	172	マンリョウ	●	●	○				
	173	コナスビ	●	●					
マタタビ	174	オニマタタビ	●		○		c		
ツツジ	175	ツツジ園芸品種群		●	○				植栽。 クルメツツジ系か？
ムラサキ	176	ハナイバナ	●	●					
	177	キュウリグサ	●	●					
ガリア	178	フィリアオキ	●		○				本来の自生ではなく、近隣からの逸出だろう
アカネ	179	ヤエムグラ	●	●					
	180	フタバムグラ		●					
	181	ナガエフタバムグラ	●						フタバムグラのうち果柄が5mm以上の型
	182	ハシカグサ	●						
	183	ヘクソカズラ	●						
	184	アカネ	●	●					
ナス	185	クコ		●					
	186	ホオズキ	●		○				
	187	イヌホオズキ	●	●					
	188	オオイヌホオズキ	●	●	○				
	189	アメリカイヌホオズキ		●	○				
	190	ヒヨドリジョウゴ	●						
ヒルガオ	191	マルバアメリカアサガオ		●	○				
モクセイ	192	ネズミモチ		●					
	193	キンモクセイ	●		○				植栽か逸出かは不明
	194	ヒイラギ		●	○				逸出
キツネノマゴ	195	キツネノマゴ	●	●					
シソ	196	クサギ	●						
	197	ボタンクサギ	●		○				
	198	カラミンツの一種	●		○				カラミンツの名で流通する園芸品種群の逸出。
	199	カキドオシ	●	●					
	200	ホトケノザ	●	●					
	201	ヒメオドリコソウ	●	●	○				
	202	イヌコウジュ		●					
	203	シソ	●		○				
	204	エゴマ	●		○				葉や花に紫がかかる個体群が多い
	205	シソ属の一種		●	○				シソ×エゴマと推定される
ハエドクソウ	206	トキワハゼ	●	●					
	207	シロバナトキワハゼ	●						トキワハゼの白花品種
	208	ハエドクソウ	●						
アゼトウガラシ	209	ウリクサ	●	●					
	210	エダウチスズメノトウガラシ	●						
オオバコ	211	オオバコ	●	●					
	212	オオイヌノフグリ	●	●	○				
	213	タチイヌノフグリ	●	●	○				
	214	フラサバソウ		●	○				
	215	ムシクサ	●	●					
モチノキ	216	イヌツゲ		●					
ウコギ	217	タラノキ	●						
	218	ウド	●						
	219	ヤツデ	●	●	○				植栽および逸出

	220	キツタ	●	●					
	221	オカメツタ	●		○				逸出?
セリ	222	ノダケ	●						
	223	セリ	●	●					
	224	オヤブジラミ	●	●					
レンブクソウ	225	ニワトコ	●	●					
スイカズラ	226	スイカズラ	●	●					
	227	ノヂシャ	●		○				
キキョウ	228	キキョウソウ		●	○				
キク	229	ヨモギ	●	●					
	230	アメリカセンダングサ	●		○		B-3		
	231	コセンダングサ	●	●	○				
	232	トキンソウ	●						
	233	アメリカオニアザミ	●		○		B-3		
	234	アレチノギク	●		○				
	235	オオアレチノギク	●	●	○				
	236	ヒメムカシヨモギ	●	●	○				
	237	ダンドボロギク	●	●	○				
	238	ハルジオン	●	●	○				
	239	ヒメジョオン	●		○		B-3		
	240	ヒヨドリバナ	●						
	241	ハキダメギク	●	●	○				
	242	ハハコグサ	●	●					
	243	セイタカハハコグサ		●	○				
	244	ウラジロチチコグサ	●	●	○				
	245	タチチチコグサ	●	●	○				
	246	チチコグサモドキ	●	●	○				
	247	キツネアザミ	●						
	248	オオジシバリ		●					
	249	アキノノゲシ	●	●					
	250	ヤブタビラコ	●						
	251	フキ	●						
	252	ノボロギク	●	●	○				
	253	セイタカアワダチソウ	●		○		B-2		
	254	ハルノノゲシ	●	●					
	255	オニノゲシ	●	●	○				
	256	アイノゲシ		●					ハルノノゲシ×オニノゲシ
257	外来タンポポ種群	●		○		B-2		外来系及び雑種系のタンポポを総称したもの	
258	オニタビラコ	●	●						

		白山神社	八幡神社	備 考
植物種数合計		210	153	
外来種数		77	51	植栽等含む
帰化率(%)		36.7	33.3	外来種数/植物種数合計
外来生物法関係				
特定外来生物		0	0	
被害防止	侵入予防外来種	0	0	表中 A-1 と表記
	その他の定着予防外来種	0	0	表中 A-2 と表記
	緊急対策外来種	0	0	表中 B-1 と表記
	重点対策外来種	3	1	表中 B-2 と表記
	その他の総合対策外来種	6	2	表中 B-3 と表記
	産業管理外来種	4	1	表中 C と表記
RL(レッドリスト)関係				
国RL指定種数 合計		0	0	
県RL指定種数 合計		0	1	千葉県RL2009
一般保護生物 D			1	